

5th Adaptive Stand-up Tennis East Japan Tournament

第5回障がい者立位テニス東日本大会

報告書 Report



General Incorporated Foundation
JAPAN ADAPTIVE STAND-UP TENNIS ASSOCIATION

一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会

2025.10.27

第5回障がい者立位テニス東日本大会 実施概要

- **日 時** 実施日：2025年10月12日(日)
受付開始 9:15～、開会式 10:00～、試合開始 10:30～
- **場 所** 千葉市蘇我スポーツ公園 フクダ電子ヒルスコート
千葉県千葉市中央区川崎町2-18
(屋外オムニコート 10面 No.11~20 使用)
- **主 催** 一般社団法人 日本障がい者立位テニス協会 (JASTA)
東日本大会実行委員会
- **後 援** 千葉市・千葉市教育委員会
- **協 賛** タムラクリエイト株式会社 (Ken's) ・ヨネックス株式会社
- **協 力** オットーボック・ジャパン株式会社
- **グレード** JASTA 1,000 point
- **大会委員長** 柴谷 健 (JASTA)
- **競技委員長** 中川勝就 (公益財団法人日本プロテニス協会)



- **参加資格** 身体障害者手帳を保有し、肢体に障がいがある方
(四肢のいずれかの切断、欠損、片麻痺、四肢麻痺、先天性の奇形)
- **ク ラ ス** PST-1 ・ PST-2 ・ PST-3 ・ PST-5
- **出場者数** PST-1 = 6名 ・ PST-2 = 8名 ・ PST-3 = 7名 ・ PST-5 = 4名
- **参 加 費** 5,000円 (一般) ・ 3,000円 (JASTA PLAYERS CLUB会員)
- **競技種目** シングルス
- **審判方法** セルフジャッジ
- **競技方法** PST-1 ・ PST-2 ・ PST-3 = トーナメント方式
JTA テニスルール ・ PST-3は2バウンド返球

PST-5 = ラウンドロビン方式
規定のコートサイズ、オレンジボール使用、2バウンド返球
それ以外はJTA テニスルールに準じる
- **使 用 球** PST-1 ・ PST-2 ・ PST-3 = ヨネックス ツアープラチナム
PST-5 = ヨネックス マッスルパワーボール30 (オレンジボール)
- **表 彰** 各クラス 優勝・準優勝
- **来場者数** 約50名

開催へのご支援お礼

この大会を大きな事故もなく無事に終わられました事を皆さまにご報告し、ご支援頂きました全ての皆様に心より感謝を申し上げます。あいにく2名の選手が直前の怪我などで出場辞退となりましたが、当日は天候も申し分ないテニス日和となり、出場された25名の選手は存分に実力を発揮されました。

今大会では千葉市、千葉市教育委員会のご後援を賜り、1社から特別協賛、1社から物品協賛、1社からご協力を頂きました。協力を名乗り出たくださった運営スタッフの皆様には、設営撤収やボールパーソン、交流イベントの運営をお手伝い頂けてとても助かりました。

立位テニスの国際的な認知は向上を続けています。国際テニス連盟（ITF）は今年開催されるこの競技の国際大会4大会を後援することを決定しました。そのうちの 하나가5月に弊協会が主催したアジア地域で初開催となるTAP JAPAN OPEN 2025（International Para Standing Tennis Asian Championships）でした。グランドスラム大会の中でも多様なテニスを紹介する動きは加速しており、1月に開催された全豪オープンのAll Abilities Dayでは立位テニスのショーケースが行われました。9月には全米オープンで16名の選手によるPra Standing Invitational（招待試合）が行われ、アジア地域から2人、弊協会所属選手が選出されて出場しました。

弊協会も、この競技をパラリンピック種目入りやプロ化も目指せる夢のある競技に育てていけるよう、地道に活動を続け、国内での競技の普及発展に努めて参ります。今後も立位テニスにご期待ください。

第5回障がい者立位テニス東日本大会
大会委員長

柴谷 健 Ken SHIBATANI



今大会運営にご協力頂いた皆さま

＜大会運営スタッフ＞ 敬称略、50音順

大会本部

JASTA PARTNERS CLUB：宇野典子・坂倉陽子・中川勝就・成島代志子

大会ドクター

JASTA PLAYERS CLUB：太田詔（出場選手兼務）

大会記録

一般：泉仁志（スチールカメラ）

ボールパーソン・受付・運営

JASTA PARTNERS CLUB：雨宮郁夫・今村正幸・鹿川彰子・神崎千鶴・庄内久美・柴谷玲子

高野修・高野洋子・原田聖也・宮下守弘

一般：今村佳奈子・鈴木康司・鈴木菊乃・関谷麻理子

心よりご協力に感謝申し上げます。

会場アクセス

<千葉県 蘇我スポーツ公園 フクダ電子ヒルスコート>



電車

JR 蘇我駅西口より徒歩 30 分

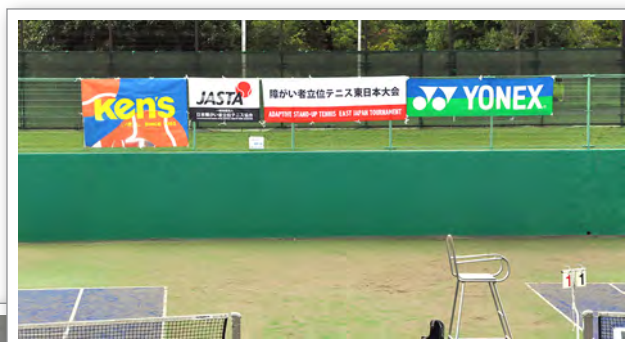


車

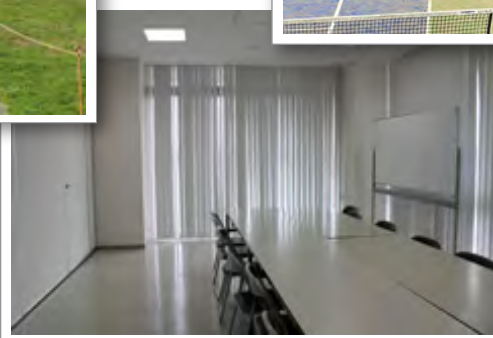
第 2 駐車場 (1 時間 100 円・障がい者は料金免除)



会議室前
(左右に 10 面づつコートがあります)



コート



会議室
(大会本部、選手待機室に使用)

スケジュール

- 2024 年 12 月上旬 ● 千葉市へ優先予約希望提出
・希望日を複数提示
- 2025 年 3 月中旬 ● 千葉市より予約確定通知、日程と場所が確定
- 2025 年 8 月上旬 ● 大会方針を定め、協賛依頼開始
・予算書・大会要項を策定
・協賛金、商品協賛、パンフレット広告協賛の依頼開始
・関係各所に大会概要を通知し、情報拡散協力を依頼、スタッフ募集開始
・千葉市・千葉市教育委員会に後援申請
・キービジュアル作成、ポスターとチラシを発注
・大会専用 web ページ立ち上げ
- 2025 年 8 月中旬 ● 協賛、物品協賛決定
・実行予算書作成
・千葉市・千葉市教育委員会より後援承認
・会場指定管理者と事前打ち合わせ
・大会使用球の協賛が決定
- 2025 年 9 月 1 日 ● 出場申し込み受付開始
- 2025 年 9 月 21 日 ● 出場申し込み締め切り
・ドロー会議
・中央・美浜公園緑地事務所へバナー掲出等にかかる占用許可申請
・表彰用品発注
・協賛バックバナー発注、運営用品購入
・当日の傷病受け入れを千葉メディカルセンターに依頼
- 2025 年 10 月 1 日 ● ドロー発表・制作物発注
・プログラム印刷入稿
・当日配布資料・サイン作成
・保険加入・占用料納付・お弁当予約・無線機リース発注
- 2025 年 10 月 8 日 ● 協賛品、表彰用品受領
・配布・掲示用資料出力・大会用品検品、当日案内を関係者にメール
・体験義足借り受け
- 2025 年 10 月 10 日 ● 搬入物仕分け・積み込み
- 2025 年 10 月 12 日 ● 大会当日
- 2025 年 10 月 14 日 ● 大会パンフレットを協賛各社へ送付
・借り受け品の返却
- 2025 年 10 月 16 日 ● リザルトを公開
・出場選手の JASTA ポイントを反映したランキングをリリース
・報告書・収支報告書作成・選手・協賛・協力の各所へ報告
- 2025 年 10 月 27 日 ● 大会報告書作成
・印刷へ回し、完成後に関係各所に郵送予定

ドロー・結果 PST-1

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



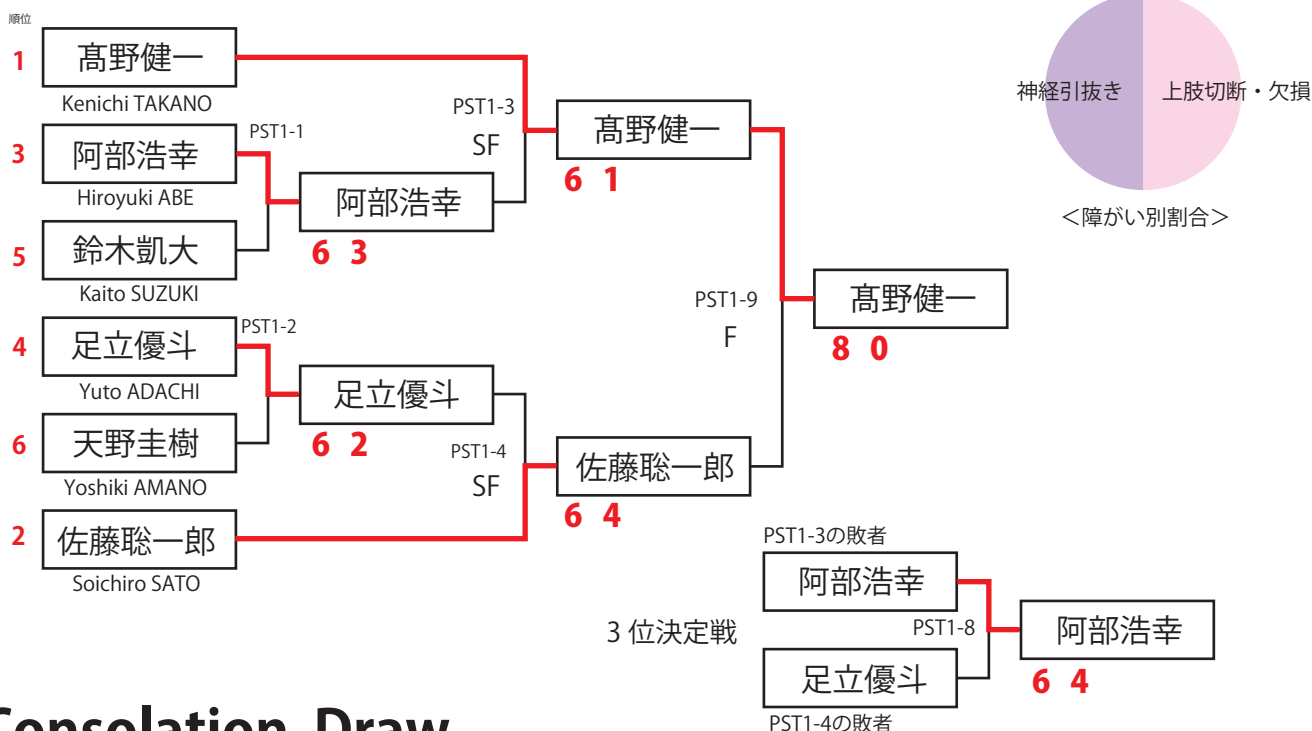
優勝 高野健一選手（千葉県）



準優勝 佐藤聡一郎選手（神奈川県）

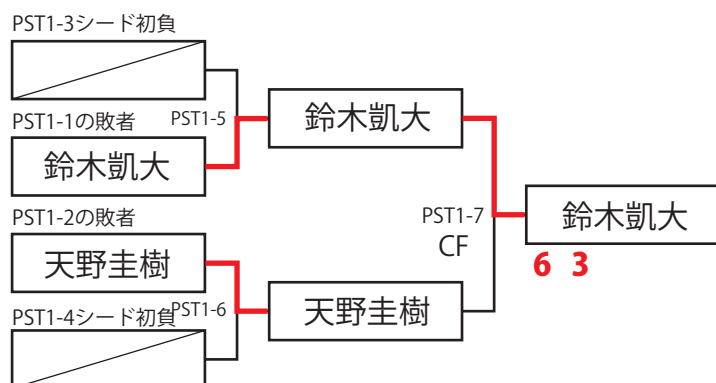
Main Draw

本戦決勝：8 プロセットマッチ（デウスあり）2 ゲーム差を付けて 8 ゲーム
先取した方が勝利、8-8 になった場合は 7P タイブレークを適用し 9-8 で勝敗が決まる
本戦・3 位決定戦：ノーアドバンテージ 6 ゲーム先取



Consolation Draw

全試合：ノーアドバンテージ 6 ゲーム先取



ドロー・結果 PST-2

Photo byHitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



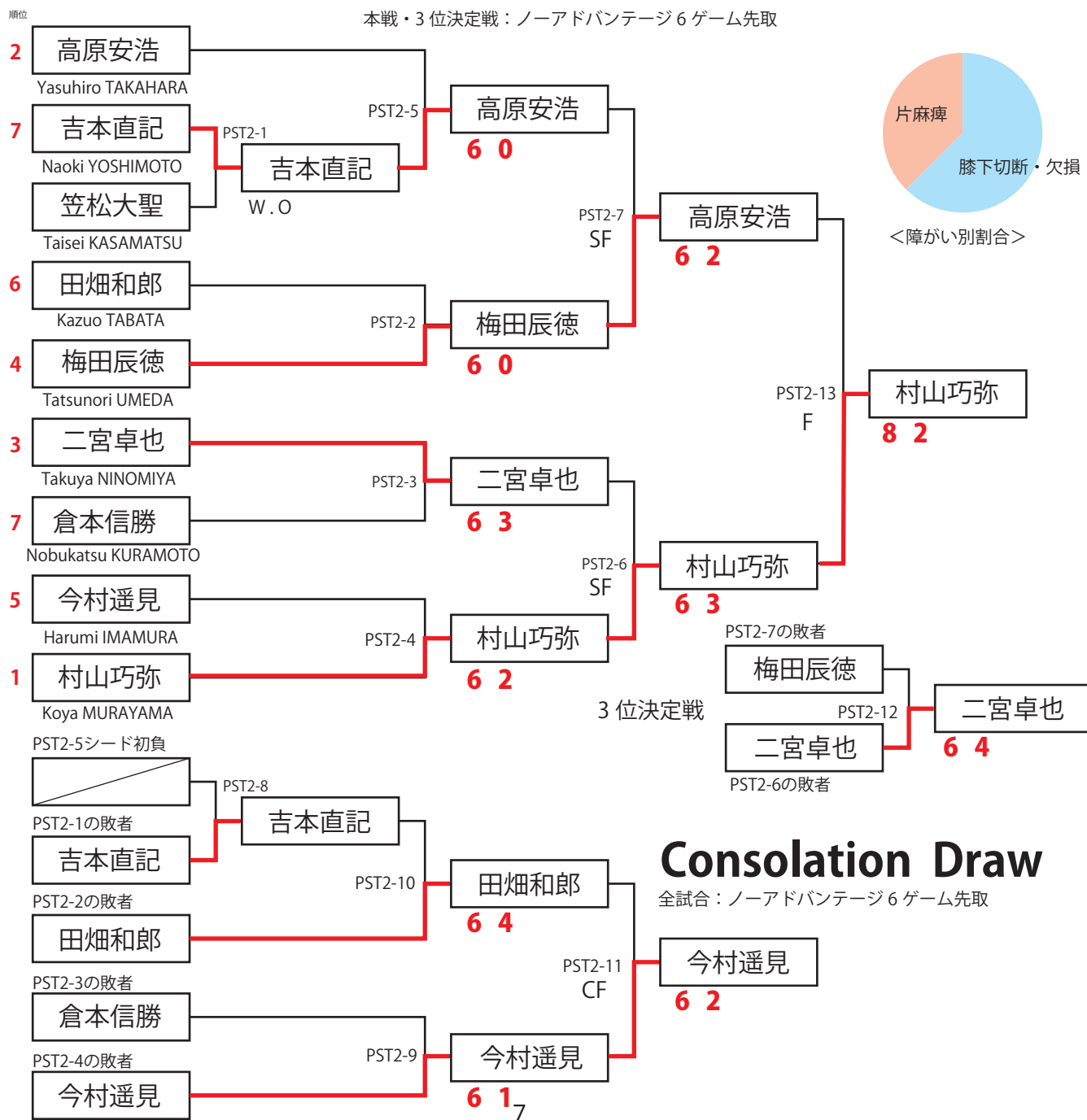
優勝 村山巧弥選手（神奈川県）



準優勝 高原安浩選手（東京都）

Main Draw

本戦決勝：8 プロセットマッチ（デュースあり）2 ゲーム差を付けて8 ゲーム
先取した方が勝利、8-8 になった場合は 7P タイブレークを適用し 9-8 で勝敗が決まる
本戦・3 位決定戦：ノーアドバンテージ 6 ゲーム先取



ドロー・結果 PST-3

Photo by Hitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



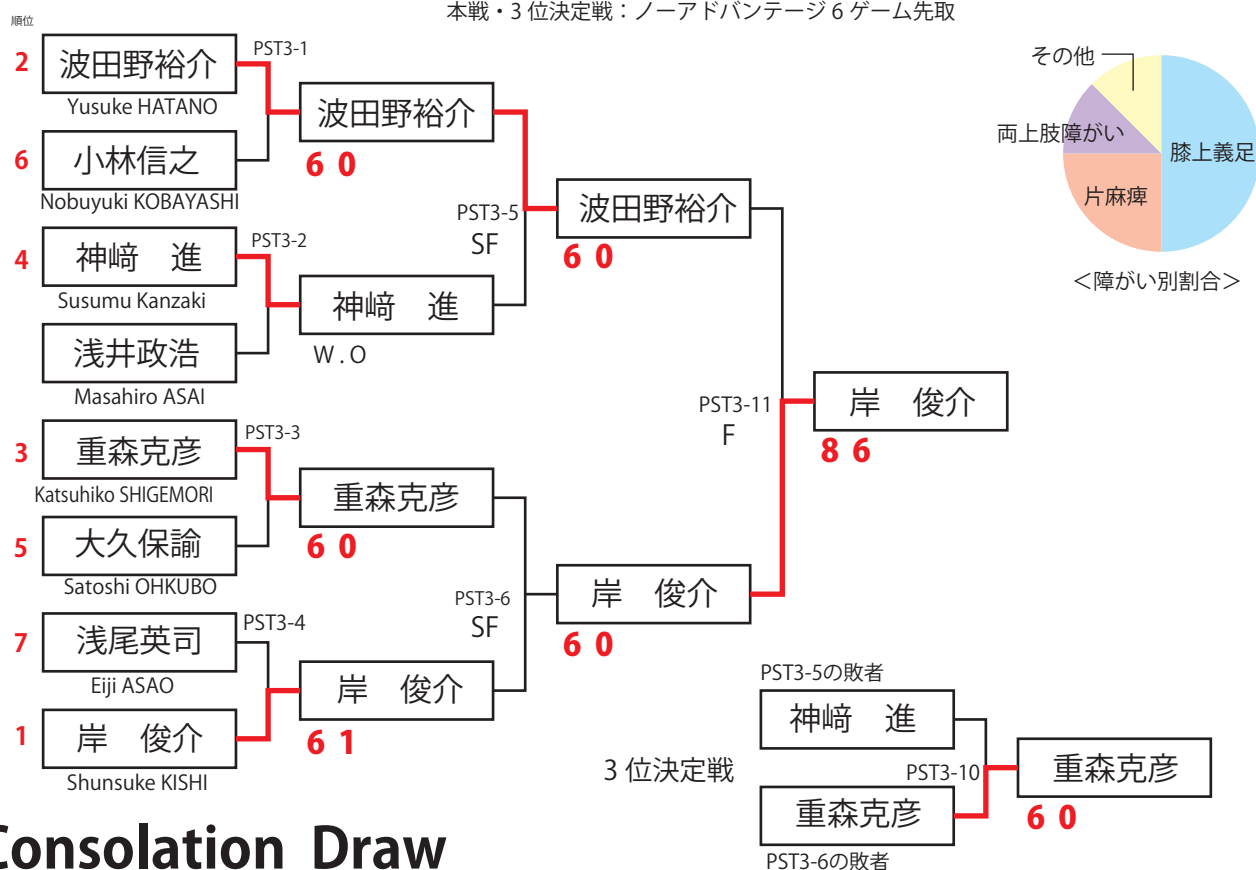
優勝 岸 俊介選手（神奈川県）



準優勝 波田野裕介選手（神奈川県）

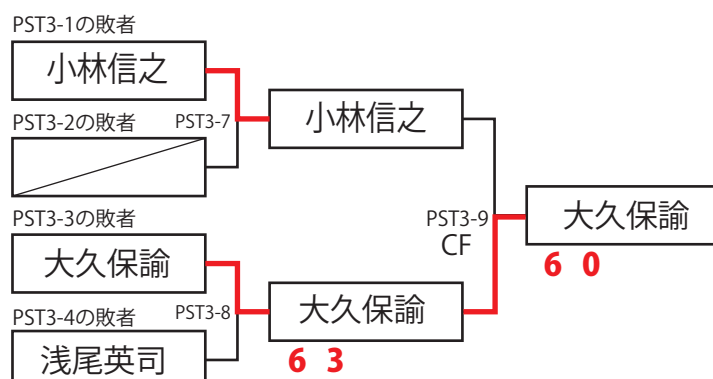
Main Draw

本戦決勝：8 プロセットマッチ（デュースあり）2 ゲーム差を付けて 8 ゲーム
先取した方が勝利、8-8 になった場合は 7P タイブレークを適用し 9-8 で勝敗が決まる
本戦・3 位決定戦：ノードバンテージ 6 ゲーム先取



Consolation Draw

全試合：ノードバンテージ 6 ゲーム先取



ドロー・結果 PST-5

Photo byHitoshi IZUMI

プレゼンター：柴谷健（東日本大会委員長）



優勝 関谷 譲選手（茨城県）



準優勝 青木祐成選手（東京都）

Draw

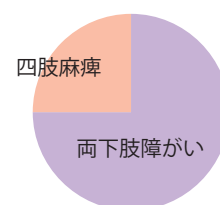
全試合：6 ゲーム先取ノード

総当り戦の為、コンソレーション無し

2 者間で勝ち数が同じ場合 = 直接対決の勝者が上位

3 者間で勝ち数が同じ場合 = ゲーム取得率が高い方が上位

(ゲーム取得率 = 総取得ゲーム数 ÷ 総ゲーム数)



<障がい別割合>

	Yusei AOKI 青木祐成	Joe SEKIYA 関谷 譲	Kana OHWAKI 大脇佳奈	Sho OHTA 太田 詔	勝 敗	順位
青木祐成		5 6 ^{PST5-1}	5 6 ^{PST5-5}	⑥ 3 ^{PST5-3}	1勝2敗	2
関谷 譲	⑥ 5		⑥ 1 ^{PST5-4}	⑥ 1 ^{PST5-6}	3勝0敗	1
大脇佳奈	⑥ 5	1 6		5 6 ^{PST5-2}	1勝2敗	3
太田 詔	3 6	1 6	⑥ 5		1勝2敗	4

1 勝 2 敗同士のゲーム取得率 青木祐成 16 ÷ 31 = 0.516

大脇佳奈 12 ÷ 29 = 0.413

太田 詔 10 ÷ 27 = 0.370

開会式

All Photo by Hitoshi Izumi



本部スタッフは白ポロシャツ、運営スタッフは黄色のビブスを着用



競技説明は、競技委員長の中川勝就様よりご説明いただいた

表彰・閉会式

All Photo by Hitoshi Izumi



＜入賞者＞PST-1、PST-2、PST-3、PST-5の優勝者と準優勝者（PST-2と5の準優勝者は先に表彰を済ませた）



優勝者にはカップ、準優勝者には盾を贈呈



入賞者のスピーチ、PST-3 優勝の岸選手からは大会直前に USTA から招待を受け出場した US OPEN 2025 Para Standing Invitational の報告もあった



＜大会委員長＞
JASTA 柴谷健よりお礼の言葉

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



ゲームカウンターとクラスバナーの設置



PST-5 用オレンジステージコート作成 Photo by Ikuo AMEMIYA



大会本部は直前の出場辞退によりオーダーオブプレイ変更を検討



オットーボック・ジャパン株式会社さま協力の義足展示
Photo by Ikuo AMEMIYA



選手受付



オーダーオブプレイの貼り出し



受付配布物 Photo by JASTA



片手でペットボトルのキャップが開けられる SMILE OPENER を紹介

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



本部は個表とボールをセットして準備



選手と運営スタッフには「のり弁当」を支給 Photo by JASTA



試合の合間に昼食を取る



Ken's テニススクール生も観戦 Photo by Ikuo AMEMIYA



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「ストラックアウト」
立位テニスを知って頂く 目的で誰でも参加可能なイベントを併催



otto・ブック・ジャパン株式会社さま協力の体験用義足 Photo by JASTA



＜交流イベント＞全試合終了後に実施「選手とラリー」
立位テニスを知って頂く 目的で誰でも参加可能なイベントを併催



＜PST-1＞阿部浩幸選手・右腕神経叢引き抜き損傷

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-1> 足立優斗選手・左腕神経叢引き抜き損傷



<PST-1> 天野圭樹選手・両上肢形成不全



<PST-1> 鈴木凱大選手・先天性左上肢機能障害



<PST-2> 今村遙見選手・右片麻痺



<PST-2> 梅田辰徳選手・下肢全ての指を失ったもの



<PST-2> 倉本信勝選手・左下腿切断



<PST-2> 田畑和郎選手・左片麻痺



<PST-2> 二宮卓也選手・左下腿切断

Photo Gallery

Photo by Hitoshi Izumi



<PST-2> 吉本直記選手・左下肢機能障害



<PST-3> 浅尾英司選手・右大腿切断



<PST-3> 大久保諭選手・左大腿切断



<PST-3> 神崎 進選手・四肢関節拘縮症



<PST-2> 小林信之選手・右下肢機能障害



<PST-3> 重森克彦選手・右片麻痺



<PST-5> 太田 詔選手・両下肢機能障害



<PST-5> 大脇佳奈選手・二分脊椎症

収支報告

2025 年 10 月 27 日作成

収入の部

項 目	金額 (円)	内 容
参加費	81,000	3,000 円／ 1 人、27 名 (直前キャンセル 2 名分含む)
特別協賛金	150,000	1 社様より (タムラクリエイト株式会社)
広告協賛金	0	
寄付	148,000	特定非営利活動法人デポーム、個人 4 名
協会負担金	3,003	収入より支出が上回る分を負担
収入合計	382,003	

支出の部

項 目	金額 (円)	内 容
会場使用料	0	(会場使用料は千葉市による 100%免除)
都市公園占用使用料	15,410	千葉市 (協賛各社バナー掲出)
大会使用球費	2,475	(一部協賛)
印刷費	26,294	A4 チラシ 400 枚、A2 ポスター 30 枚、A4 パンフレット 100 部 A4 報告書 100 部
デザイン版下作成費	30,000	R-WORKS
会場装飾費	15,862	バックボード作成
配布資料制作費	10,000	対戦表、トーナメント表
会場装飾備品費	0	既存流用
オレンジコート作成備品費	3,150	50mm 巾マスキングテープ
事務用品費	110	領収書用紙
表彰用品費	27,520	優勝カップ 4 点、準優勝盾 4 点
参加賞費	0	ご協賛
送料・通信費 (※)	34,260	チラシ、ポスター、資料の発送費、無線機リース
衛生・救護用品費	0	既存流用
会議費	2,870	会議室利用料、喫茶代
選手・運営スタッフ昼食費	26,308	お弁当 + 水
運営スタッフ謝金費	53,000	3,000 円 × 11 名、5,000 円 × 4 名
旅費交通費	10,193	高速料金、ガソリン代
イベント保険費	5,579	100 名 (選手、スタッフ、イベント参加者) 想定
大会本部経費	60,000	競技委員長、競技副委員長、大会メディカル経費
大会記録費	20,000	スチールカメラマン 1 名
マニュアル・資料作成費	30,000	space design studio arc
雑費 (※)	3,972	駐車場代、振込手数料
未精算分見込み	約 5,000	報告書送料など 約 5,000 円見込み
支出合計	382,003	(※) 10 月 27 日現在未精算の大会経費有り

収入合計 382,003 円 - 支出合計 382,003 円 = 0 円

※ 10 月 27 日現在、未精算の支出があります。支出では見込み額を計上、収入より支出が上回る場合は協会負担金を拠出し収支がプラスマイナス 0 になるようにします。余剰金は協賛各社さまとの取り決めにより弊協会活動費に算入します。

The 5th Champions & Runners 第5回チャンピオンと準優勝者

Photo by Hitoshi Izumi



PST-1 優勝 左手全ての指欠損の高野健一選手



PST-1 準優勝 右腕神経叢引き抜き損傷の佐藤聡一郎選手



PST-2 優勝 左片麻痺の村山巧弥選手



PST-2 準優勝 左下腿義足のの高原安浩手



PST-3 優勝 左大腿義足の岸 俊介選手



PST-3 準優勝 左大腿義足の波田野裕介選手



PST-5 優勝 両下肢機能障害の関谷 譲選手



PST-5 準優勝 四肢麻痺の青木祐成選手